

棟の高さの異なる屋根を作成する（吹抜利用・軒編集）

切り妻で、棟の高さが異なる屋根を作成します。この作例では、2 階建て住宅の 3 階に、実際にはない吹抜の部屋を配置することで、棟の高さの違いを表現します。

完成例



※「マイホームデザイナーLS」で作成しております。

対象バージョン マイホームデザイナーLS

操作概要

操作1 : 3 階の階高を低く設定し、吹抜を配置します。

操作2 : 屋根の軒方向を編集します。

操作1

3 階の階高を低く設定し、吹抜を配置します。

- 1) 間取りを作成します。
- 2) 「設定」メニューの「立体化設定」を選択します。[立体化設定] の [階高・壁厚] タブを選択します。
- 3) 3 階(あとの手順でここに「吹き抜け」を配置)の「階高」「天井高」を低く設定します。

ここでは、天井高を「499 mm」、階高を「500 mm」とします。

立体化設定 (外装・内装・屋根・階高)

外装スタイル 内装スタイル 屋根 **階高・壁厚**

階高と床厚

	天井高	階高
4階	2400 mm	2900 mm
3階	499 mm	500 mm
2階	2400 mm	2900 mm
1階	2400 mm	2900 mm
地下	2400 mm	3010 mm

1階床高(E): 610 mm
基礎高(H): 400 mm
壁厚(W): 100 mm

※このページの設定を変更した場合は、「編集」メニューの「元に戻す」で取り消すことができません。

☐ 既定値として保存(S)

OK キャンセル

- 4) 「屋根」タブを選択し、「軒の出」と「屋根勾配」の数値を設定し、[OK] をクリックします。

立体化設定 (外装・内装・屋根・階高)

外装スタイル 内装スタイル **屋根** 階高・壁厚

屋根・軒

屋根勾配(T):	5.00	寸 (26.57度)
軒の出(Q):	300	mm
軒天井(C):	勾配軒天	
軒天厚(H):	180	mm

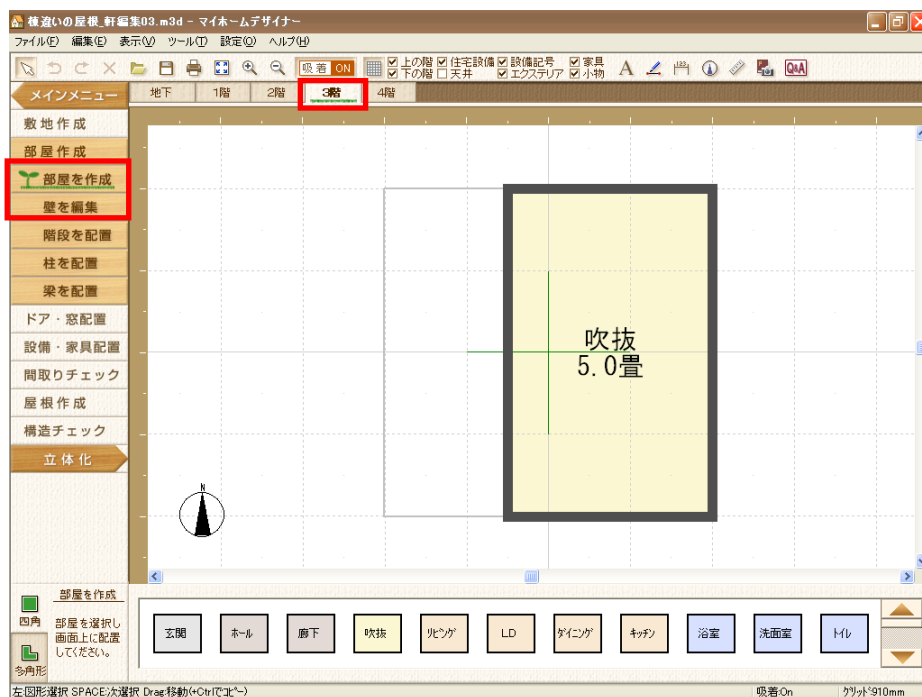
パラペット (※陸屋根の場合のみ有効)

立上り(A):	600	mm
立下り(B):	200	mm

☐ 既定値として保存(S)

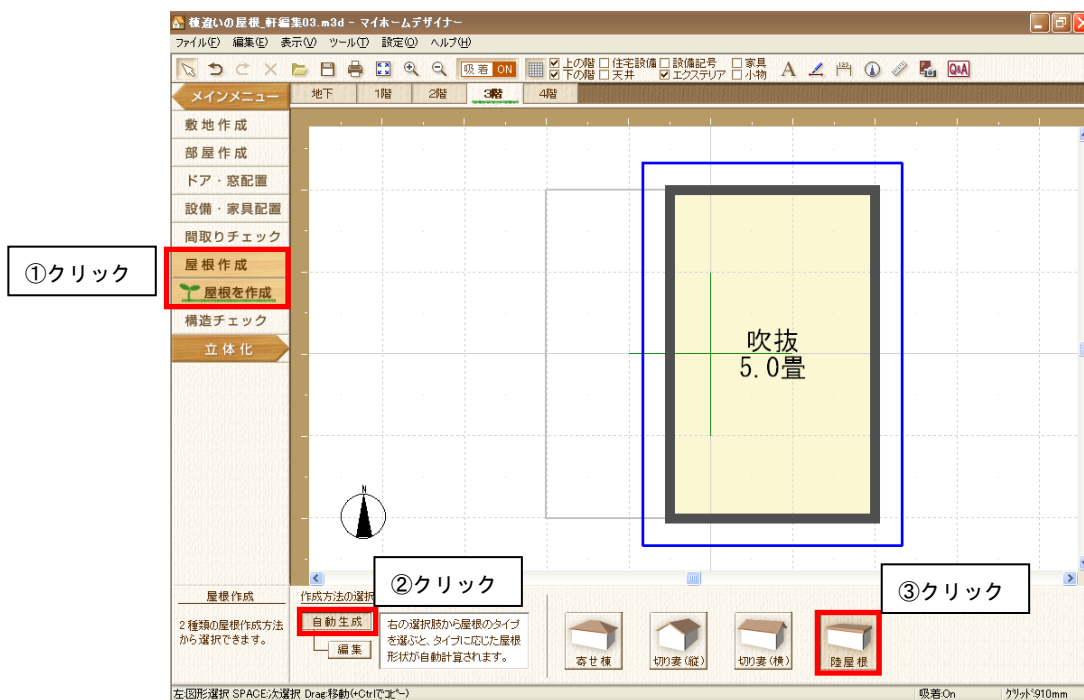
OK キャンセル

- 5) フロアタブの3階を選択し、ナビの[部屋作成]-[部屋を作成]を選択します。
- 6) 棟が高くなる方の3階に吹抜を配置します。

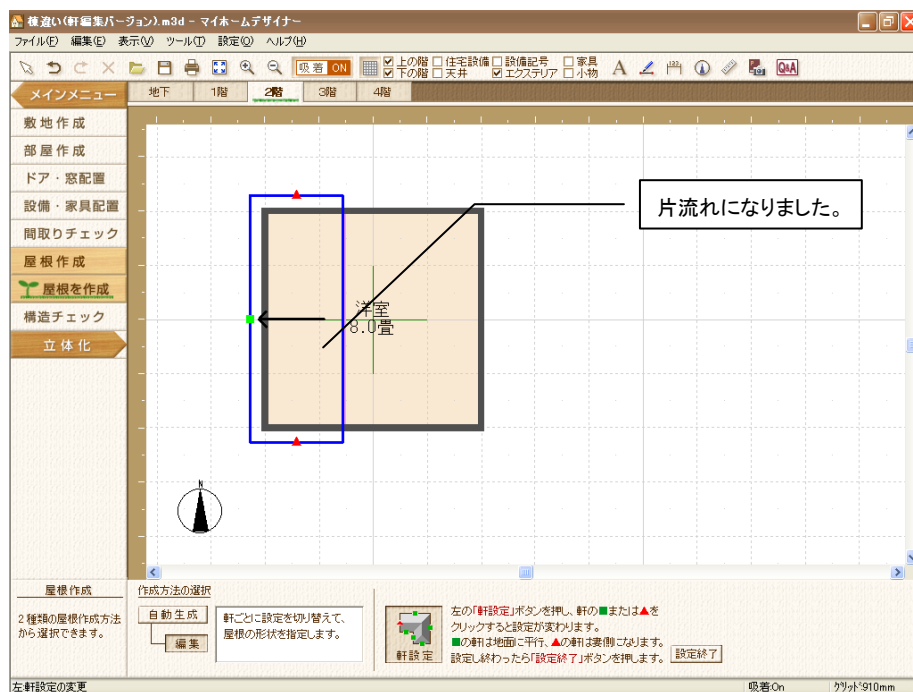
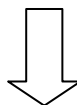
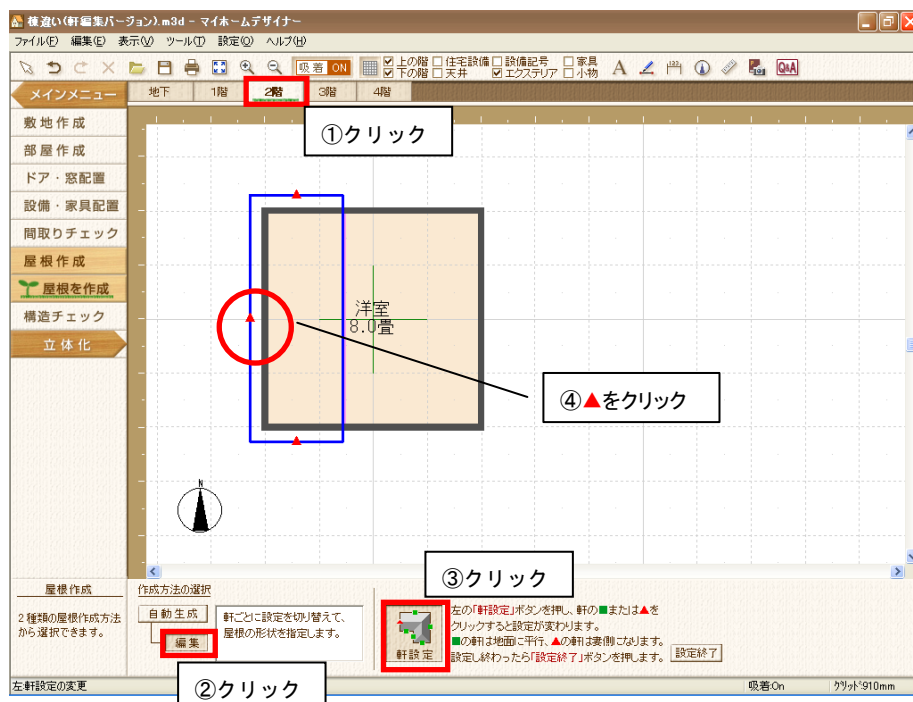


操作2 屋根の軒方向を編集します。

- 1) ナビの[屋根作成]-[屋根を作成]を選択します。
- 2) 屋根作成パレットの[自動生成]で[陸屋根]をクリックします。

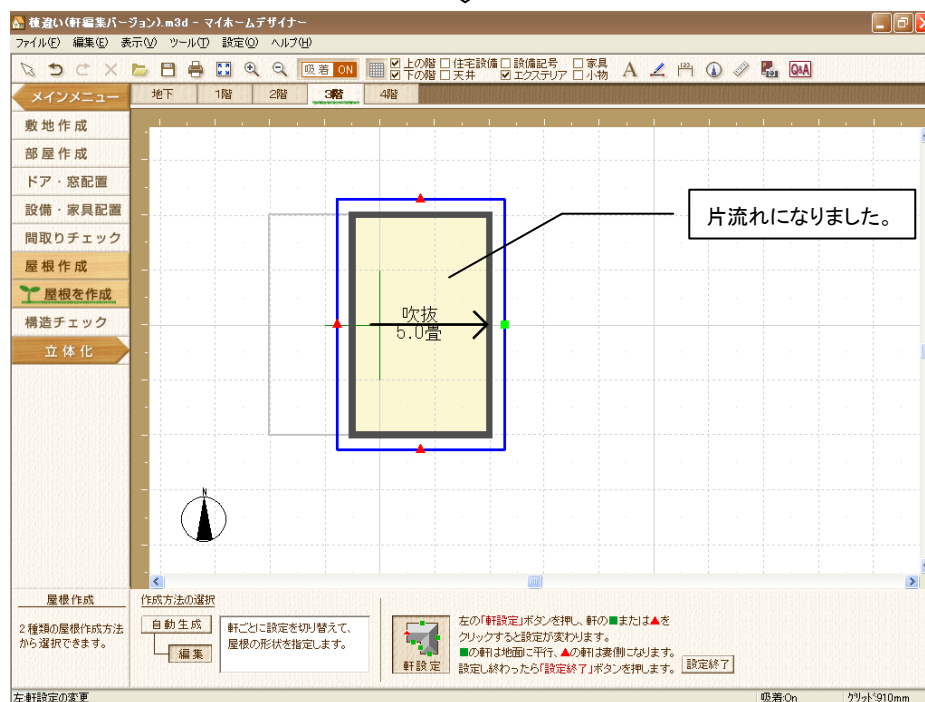
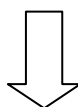
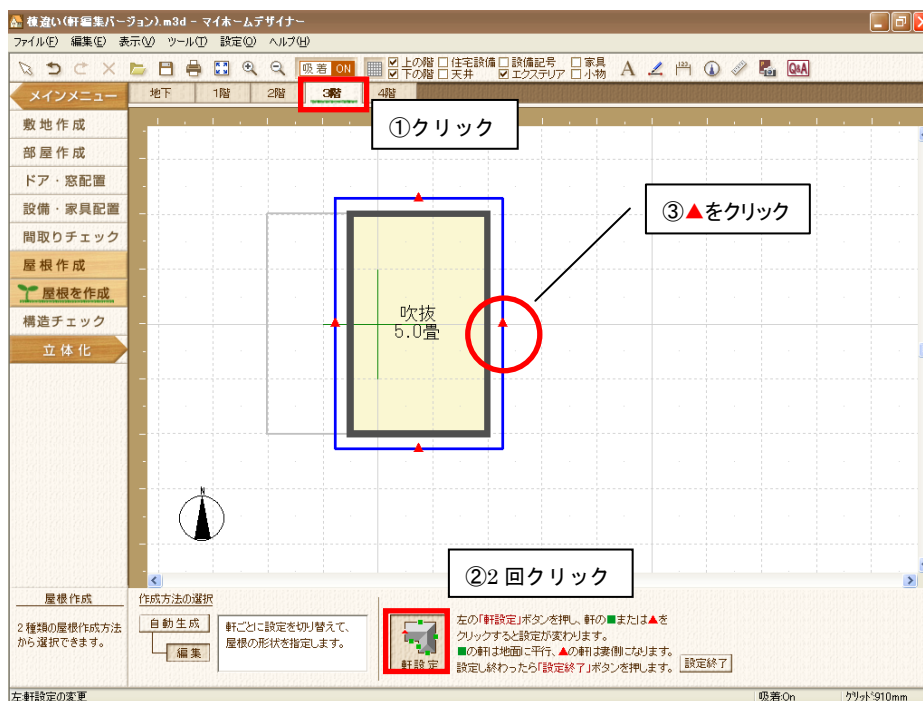


- 3) フロアタブの [2 階] を選択します。
- 4) パレットの [編集] をクリックし、[軒設定] をクリックします。
- 5) 屋根の軒の ▲ をクリックし、軒設定を切り替え、■ (地面に平行) にします。



6) フロアタブの [3 階] を選択し、[軒設定] を 2 回クリックします。

7) 屋根の軒の ▲ をクリックし、軒設定を切り替え、■ (地面に平行) にします。



8) 立体化して、屋根形状を確認します。

